

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 男 11名 女 14名 計 25名

1 単元名 だいじなところに 気をつけて読もう

教材名 「サンゴの海の生きものたち」 (光村図書 2年上)

学習指導要領 第1・2学年<読むこと>

- ・ 目標 「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」
- ・ 主たる指導事項：「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」
 - ＜読(1)イ＞
「語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。」
 - ＜読(1)ア＞
「語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある分や文章を書くこと。」
 - ＜書(1)ウ＞

2 単元について

(1) 児童について

児童は、1年生の説明的な文章の学習において、説明されている事柄を主語・述語の関係に注意したり、説明的な文章の基本である「問い→答え」の文型に気付いたりしながら、大体を読む学習を行ってきた。これらの学習を通して、文の主語・述語を確かめながら読んだり、写真や挿絵を手がかりにして書かれていることの大体をつかんだり、文末表現に着目し、問いの文、答えの文を見つけたりすることもできるようになってきている。2年生では「たんぼぼのちえ」の学習において、時間的な順序を表す言葉に着目しながら、たんぼぼが変化していく様子とそうに様子の変化するわけについて読みとり、まとめる学習をしてきた。その中で、時間的順序を表す言葉や文末表現に着目して、様子やわけを表す文を見つけたりすることができるようになってきている。さらに、最後の段落が「このように～」という形で文章全体がまとめられていることから、説明的文章の基本的な要素も学ぶことができた。また、教材文で読みとった内容を活用し、文章に表したり、友だちに伝えたりするという力も身につけてきている。

(2) 教材について

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、サンゴの海にくらす生き物たちが共生している海の不思議を伝える説明的な文章である。「共生」というやや難しい内容を含んでいるが、子どもたちは、次々と出てくる水族館や図鑑で見かけたことのある海の生き物たちの不思議な生態に興味をもって読むことができるであろう。文章は、4つの大きな意味段落が、話題提示、事例1・2、全体のまとめという構成になっている。第1段落では、提示された話題に沿って子どもたちが目的をもって読み進めることができるように工夫されている。第2、3段落には、二つの具体例を例示し、生き物の「体の特徴」「かかわり合い」の順序に説明されている。そして第4段落では、話題に対する結論がまとめられており、「はじめ」「なか」「おわり」という説明的な文章の典型的な構成となっている。これまで読んできた説明的な文章に比べ、登場する生き物の数が多く、説明がやや複雑になっているが、生き物の体の特徴、一緒にいるわけを読みの視点とし、主述をはっきりさせることにより、子どもたちは、発見や驚きをもちながら意欲的に読み進めることができるであろう。

これらのことから、本教材は、生き物の特徴や行動に気をつけながらかかわり合いを読みとっていくという学習によって、主述に即して事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことに適した教材であると考えられる。

(3) 指導にあたって

本単元では、海の生き物図鑑を書くという目的意識をもって学習を進めていきたい。そのため、第1次では、教師が作成した生き物図鑑のサンプルを示し、学習への意欲をもたせたい。文章を段落やまとまりごとにわけ、大体の内容を読み、学習計画を立てることで学習の見通しもたせたい。

第2次では、どんな生き物がどのような体の特徴をもっているから共生関係が成り立つのかを読み視点とする。主述をはっきりさせ、文章と写真を照応させたり、生き物のかかわりを絵や図をつかって表したりしながら書かれていることを理解することができるようにしていく。

第3次では、教材文で読みとった内容や文章表現、文章構成を活用して、海の生き物図鑑を書く活動へつなげていきたい。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- 海の生きものたちの共生の不思議さに興味をもち、そのかかわり合いを読みとるとともに、読みとった力を生かして海の生き物図鑑を作ろうとする。

【話すこと・聞くこと】

- 海の生きものたちのかかわり合いについて、大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。 <話・聞(1)エ>

【書くこと】

- 海の生きものについて書かれた本を読んで、生き物の特徴を説明する文章を書くことができる。 <書(1)ウ>

【読むこと】

- 語や文のまとまり、内容のまとまりを考えながら声に出して読むことができる。 <読(1)ア>
- 事柄の順序を考えながら、「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを読みとることができる。 <読(1)イ>

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 文の中における主語と述語の関係に注意することができる。 <伝イ(カ)>

4 指導計画（10時間）読む 6時間 書く 4時間

| 段階 | 時 | 学 習 活 動 | 評 価 規 準 |
|-----|---------|---|---|
| 第1次 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 海の生きものについて知っていることを話し合う。 単元名、リード文に着目し、学習のめあてをもつ。 全文を読み、感想を書く。 新出漢字や語句を学習する。 | <ul style="list-style-type: none"> 「サンゴの海の生きものたち」を読んで、初めて知ったことや不思議に思ったことなどを書いたり、発表したりしている。 <話・聞(1)エ> |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> 段落わけをし、学習課題を立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習課題を考え、学習の見通しをとらえている。 <読(1)イ> |
| 第2次 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 文章全体の話題、問いの文について読む。 | <ul style="list-style-type: none"> サンゴの海の生きものたちが互いに関わり合っている共生の不思議に興味をもっている。 <関・意・態> |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて読む。 | <ul style="list-style-type: none"> イソギンチャクとクマノミの特徴と関わり合いを読みとっている。 <読(1)イ> |
| | 5 本時 | <ul style="list-style-type: none"> ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いについて読む。 | <ul style="list-style-type: none"> ホンソメワケベラと大きな魚たちの特徴と関わり合いを読みとっている。 <読(1)イ> |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> サンゴの海の生きものたちのかかわり合いについて、全体のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 生きものたちのかかわり合いについて、大事な言葉に気をつけながらまとめたり、段落の役割に着目しながら文章全体のつくりをとらえている。 <読(1)イ> |
| 第3次 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> 「サンゴの海の生きものたち」の学習を生かして、海の生きものたちについて書かれた図鑑や本を読む。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習したことを活用し、新しく読む文から、海の生き物の特徴と生きる知恵を読みとっている。 <読(1)イ> |

| | | |
|-------------|---|--|
| 8 ・ 9 | ・ 「海の生き物図鑑」を書く。 | ・ 海の生き物の特徴と生きるための知恵を語や文の続き方に注意して書いている。 ＜書（1）ウ＞ |
| 10 | ・ 「海の生き物図鑑」をペアやグループで交流する。 ・ 単元の学習をふりかえる。 | ・ 海の生きものたちのかかわり合いについて、大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞いている。 ＜話・聞（1）エ＞ |

5 本時の目標

(1) 目標

ホンソメワケベラと大きな魚たちの体の特徴やかかわり合いを読みとることができる。

(2) 指導にあたって

①対話について

本時の対話は、ホンソメワケベラと大きな魚はどんなかかわり合いをしているのか、読みとったことを生かしてまとめ、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする。互いの考えを聞き比べる活動をすることにより、自分の考えがより確かなものになるであろうと考える。

②学び合いについて

対話後、ホンソメワケベラと大きな魚はどんなかかわり合いをしているのか全体で交流し、子どもたちの考えたまとめを文章や写真と照応させながら、ホンソメワケベラと大きな魚が互いに役に立っていることについて気づかせていきたい。

(3) 展開

| 段階 | 時間 | 学習内容と活動 内容（・）主発問（○） | 指導上の留意点（・）と評価（◎） |
|-----|-----|--|--|
| 見通す | 3分 | 1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 ホンソメワケベラと大きな魚は、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。 | ・ イソギンチャクとクマノミの特徴とかかわり合いについて問いに対する答えを確かめたことを想起する。 ・ 問いの文中のキーワードをもとに読みとることを確認し、まとめの見通しを提示する。 |
| 深める | 37分 | 3 学習場面を音読する。 4 学習課題を解決する。 （1）生きものの特徴を読みとる。 ・ 名前と特徴にサイドライン （2）ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとる。 ①ホンソメワケベラというと、大きな魚にとっていいことを読みとる。 ○ 大きな魚にとっていいことは何ですか。 ・ 体や口の中をきれいにしてもらっている。 ②大きな魚というと、ホンソメワケベラにとっていいことを読みとる。 ○ ホンソメワケベラにとっていいことは何ですか。 ・ そうじしてとった虫が食べものになる。 ③ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてまとめる。 | ・ 生きものの特徴を見つけるには、どんなことに着目すればよいか、掲示などをもとに確認する。 ・ 生きものの特徴に着目しながら読むことを確認する。 ・ ホンソメワケベラの特徴をカードに書いて提示する。 ・ さまざまな特徴のうち、かかわり合いにおいて重要な特徴は何か気づくことができるようにする。 ・ 互いに役立っていることがどんなことであるか、板書にある言葉 |

| | | |
|------------|--|---|
| | <p>○ ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いはどんなかかわり合いですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話 | <p>を使ったり、自分で言葉を付け加えたりして話すことを知らせる。</p> |
| | <p>(3) 課題のまとめをする</p> <p>こうして、ホンソメワケベラと大きな魚たちは、たがいにやくに立っているのです。</p> | <p>◎ ホンソメワケベラの特徴に着目して、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時のまとめの文を参考にし、ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いについてノートにまとめることを知らせる。 |
| <p>まとめ</p> | <p>5 学習のふりかえりをする。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をふりかえり、対話で自分の考えを話すことができたこと、学習内容をまとめることができたことを実感し、次時以降の学習へ意欲をもてるようにする。 |

<具体の評価規準と支援>

- A : ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いがわかるように、教材文に出てきた言葉に自分の言葉を付け加えながら書いている。
- B : ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いがわかるように、教材文に出てきた言葉をつかって書いている。
- C 児への支援 : 板書をもとに、ホンソメワケベラの特徴について指導者と一緒に確かめ、教材文に出てきた言葉をつかってホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを書くことができるように支援する。

6 板書計画

